

DiHuCoワークショップ

デジタルヒューマニティーズ のための アーカイブ基盤を学ぶ

— OmekaとIIIFで研究資料を公開する —

本ワークショップは、デジタル時代の新たな人文学を担う次世代の研究者育成と、それに向けた教育プログラムの開発及び向上を目指して開催するものです。

具体的には、人文学に関心を持つ学部生・大学院生を対象に、自身の研究で扱う資料をデジタルアーカイブ化する演習を通じて、「デジタルヒューマニティーズ (Digital Humanities: DH)」と呼ばれるデジタル技術を活用した人文学研究の方法論を実践的に学びます。併せて、これらの教育プログラムに関する改善点等を提示いただくことにより、このような学びの機会のさらなる発展へと繋がります。また、ワークショップにおける所属大学や専門分野を越えた学生・若手研究者との交流を通じて、多様な視点に触れ、自身の研究を広げる新たなきっかけを得ることを期待しています。

2025 8.25^月 - 27^水

場 所 大阪大学 豊中キャンパス
言語文化A棟2階 大会議室

対 象 デジタルヒューマニティーズに関心を持つ学部生、
大学院生、若手研究者

定 員 講演 (初日) 60名 / 演習 (2, 3日目) 25名

参 加 費 無料

参加方法 ①初日のみ参加、②2,3日目のみ参加、③全日参加のいずれか
※申し込みフォームからいずれかを選択してください。
※②、③に参加する方に、旅費が支給される場合があります。

申し込みフォーム <https://forms.office.com/r/pjPThC8WcY>

※演習にご参加の方は、PCを持参してください。
そのほかに必要な準備事項については、後日申し込み時の
メールアドレスを通じてお知らせします。

8月4日
締切



Program

8.25^{Mon}

- 13:30 趣旨説明
- 13:40 イントロダクション
「デジタルヒューマニティーズの
世界によろこそ!」
吉賀夏子
(大阪大学大学院人文学研究科 准教授)
- 14:40 人文学と情報学の対話
「渋沢栄一ダイアリー」構築の経験から
中村 覚 (東京大学史料編纂所 助教)
金 甫 榮 (人間文化研究機構本部 特任准教授)
後藤 真 (人間文化研究機構本部 特命准教授 /
国立歴史民俗博物館 准教授)
- 16:00 ディスカッション
- 17:00 解散

8.26^{Tue}

- 10:00 集合
- 10:10 自己紹介
- 10:30 演習 OmekaとIIIFに関する基礎
中村 覚 (東京大学史料編纂所 助教)
吉賀 夏子
(大阪大学大学院人文学研究科 准教授)
- 12:00 休憩
- 13:30 演習 デジタルアーカイブの制作
(午前の続き)
- [15:00 休憩 / 進行状況により10~20分]
- 18:00 解散

8.27^{Wed}

- 10:00 集合
- 10:10 ワークショップの振り返り
成果発表と意見交換
- 12:00 解散

主催: DH コンソーシアムプロジェクト (DiHuCo)
共催: 大阪大学グローバル日本学教育研究拠点、
大阪大学大学院人文学研究科人文学林、
科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)
「歴史情報学の創成」